

伝統文化とバリアフリー

「車椅子の人も、から合いを見たいねん」
それがこの記事を作成するきっかけで
した。



今回取材をさせて
頂いたのは、特
定非営利活動法人
自立生活セン
ター・リアライ
ズ理事長、三井孝夫
氏。そのリアライ
ズでの活動趣旨と
活動内容は、泉州
から障がい者への
差別を解消し、そ
して誰もが暮らし続けられる泉大津を目指
すというものです。障がい者が地域で当た
り前の生活を送るためには、様々なサポー
トや拠点が必要になるため、障がい者自身
が中心となってサポートを充実させ、「ど
もに生きる社会」を実現しようとしていま
す。障がい者も健常者も同じ権利が保障さ
れ、役割をもって自立した地域生活を継続
できる社会の実現を信じて。

令和6年4月1日から障害者差別解消法
が変わり、合理的配慮の提供が義務化され
ました。日常生活・社会生活において提供
されている設備やサービス等について、障
がいのある人は簡単に利用できても、障が
いのある人にとっては利用が難しく、結果
として障がいのある人の活動等が制限され
てしまう場合があります。このような場合
には、障がいのある人の活動等を制限して
いるバリアを取り除く必要があります。こ
のため障害者差別解消法では、行政機関等
や事業者に対して、障がいのある人に対す
る「合理的配慮」の提供を求めています。
具体的には、行政機関等と事業者がその
事務・事業を行うにあたり個々の場面で、
障がい者から「社会的なバリアを取り除い

て欲しい」旨の意思の表明があった場合、
その実施に伴う負担が加重で無い時、社会
的なバリアを取り除くために必要かつ合理
的な配慮を講ずること、とされておりま
す。そこで、リアライズは2015年から、泉
大津TRYという活動を行なってきました。
泉大津TRYとは？

障がいのある人や高齢者、ベビーカー
ユーザーのババさん&ママさん、お店に入
る時やサービスを利用する際に、気を使
うつちやうことはありませんか？
例えば、「場所とるし、迷惑と思われへ
んかなあ。」「入口の段差とか快く手伝っ
てもらえるかな。」など、ちよつと勇気
が必要になることがあると思います。一方、
お店の人たちは、ウェルカム精神でいてく
れている場合が多いけど、お互いの思いが
つながらっていない」ことが多いように感
じます。

そこで、泉大津TRYでは、「お互いが
つながる」ことを通じて、地域のみなさん
と一緒に「誰にとつても利用しやすいお店
づくりの活動」を発信し、地域のみなさん
と一緒にバリアフリーについて取り組んで
いける、そんな街づくりを進めているとこ
ろです。

祭礼においても、この合理的な配慮の提供
を講じていかなければいけないと思います。
他市では祭礼時、車椅子用のMAPを作
られています。所もご
ざいますが、濱八
町ではまだそこま
で出来ておりませ
ん。現在車椅子の
方は、どのように
だんじり曳行を観
覧しているのか？
と三井氏に疑問を
投げ掛けた所、結
局は、遠慮してし



まいがちとの事で
した。まったく見
れないわけではあ
りませんが、どう
しても安全な場所
で曳行を遠目で見
るのだそうです。
また「から合い」
を観ようとしても
なかなか難しい所
があり、これも遠
目で安全な場所から眺める程度でした。

そこで昨年は、三井氏が祭礼参加者の同
級生に相談した所、「うちの町内で見るか？」
とトントン拍子に話が進み、間近で見ること
が出来たそう。三井氏自身と一緒に来
られていた方々も大喜ばれておりました。
今回このような事が実現出来たのは大変嬉
しい事です。障がい者も健常者と同じように、
地域の学校に通い、たくさん
の人のつながりの中で交流し、社会的な役
割を担い、仕事終わりに一杯飲んで、結婚
や出産、子育てを行う。そんな当たり前
の社会生活を送って欲しいので、今後、祭礼
参加者、見学者、老若男女問わず皆が楽し
める祭礼を目指し、このパンフレットを通
じて進んでいきたいと思ひます。



三井孝夫
特定非営利活動法人
自立生活センター・リアライズ理事長
障がいがあつても諦めることなく、法人を立
ち上げ大阪泉州地域にて障がい者自立生活活動
を開拓。自分らしい人生を送つてい
るため、泉大津市を中心として活動して
いる。「障がいパ
ワーだ！エネル
ジーだ！」をモツ
トに活動中。

書籍紹介

だんじり
認知症サポーターの軌跡

著者 川端 徹
発売日 令和6年7月
定価 990円(税込)
出版社 幻冬舎M.C

住み慣れた街でみんなが安心して暮
らし続けるために、地域で根ざしたイ
ベントを活用しサポートの輪を拡げ
る。

「だんじり祭」と「認知症対策」とい
う一見全く関係のない二つをつなげる
ことで、地域社会に新たなイノベ
ーションを生み、地域創生に大きく貢
献してきた活動の軌跡をたどってい
ます。

伝統行事を利用した地域包括ケアの
具体的な取り組み事例から、認知症患
者を地域全体でどのようにサポートし
ていくべきかについてのヒントが得ら
れる一冊です。
全国主要書店・Amazon、泉大
津市では水嶋書房、谷大雅堂書店で販
売中。



令和七年 だんじり祭

編集後記

本年も濱八町だんじりパンフレットに多大なるご協力を頂き誠に有難うござ
います。
各企業・店舗の皆様、各団体の皆様からご協力を頂き、心より感謝致します。
濱八町祭礼パンフレットを通じ、この伝統文化の発展と継承を、この濱八町
地区へ微力ながら精一杯の応援をさせていただきますので、今後とも宜しくお願い
致します。

総括・発行：濱八町だんじりパンフレット実行委員会
企画：藤本将史
協力：泉大津濱八町祭礼委員会
監修：浅井将皓（伯舟庵）
編集・制作：Design Office ASSIST